

中央手議部報告

本年度の手議は全体的に見て、不景気による事業縮少の
名に於て行はれたる餘産同盟が終極一貫して其の活動を注
してゐる。而して作らざるを旨とする分譲に於ては、余り
少く

不景気による小工場閉鎖の行詰り、
組合在連を目的とした大資本の攻勢、
正しい(一)の換向は前年の如く延長の下手な(一)の價
向はどれに算し得る最良の資本大勢を確保し得るものか
しこ、日本に於ける最近の資本大勢を確保し得るものか
る

—富士物産手議— 別子住及銅山手議—
—藤田小沢手議— 明治製菓手議— 日本炭礦手
議— 共同印刷手議— 其他